

平成 29 年度 国語科 第 1 学年 学習指導・評価計画

1. 国語科の学習指導のねらいおよび目標
 - ・国語を正確に理解する力を育て、適切に表現して伝え合う力を高める。
 - ・言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め、国語を尊重する態度を育てる。
2. 国語の学習で大切なこと
 - ・授業での学習を大切に、文章をよく読むこと。また、先生や友達の発言をよく聞くこと。
 - ・必ず、自分の感想や考えを持つようにし、それを言葉にしてみよう。
3. 思考力・判断力・表現力を高めるには
 - ・正確に読み取る力、聞き取る力を高めよう。それらをもとに、自分の考えを整理しよう。
 - ・どのような表現をすれば、相手に伝わるだろうということを考えながら、書いたり話したりする。
4. 家庭学習の進め方
 - ・国語の能力は、授業だけでなく、日頃の生活のなかでも養われます。日頃から読書をしたり、新聞を読んだり、友人や家族と会話をする中で、使える言葉の数をふやしましょう。また、漢字の学習は、毎日少しずつ進めてほしいです。定期テスト前には、授業中の学習課題（論理の展開、筆者の意図、場面や登場人物の設定等）を復習しましょう。また、プリントや課題プリントをやり直したり、取り組んだりしましょう。
5. 評価について

【関心】・授業中の意欲（発言・課題への取り組み）・提出物の状況

【話す聞く】・スピーチや話し合い活動の技能・聞き取りの技能・聞き取りテスト

【書く】・学習プリント（書く課題）・単元テスト・定期考査

【読む】・学習プリント（読む課題）・単元テスト・定期考査

【言語】・学習プリント（言語課題）・漢字テスト・定期考査・書写作品

【評価の観点およびその趣旨】

観 点	趣 旨
関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、国語を尊重しようとする。
話すこと・聞くこと	目的や場面に応じ、社会生活に関わることなどについて相手や場に応じて話す能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身につけている。話したり聞いたりして考えを深めている。
書くこと	目的や意図に応じ、社会生活に関わることなどについて、論理の展開を工夫してかく能力を身につけている。文章を書いて考えを深めている。
読むこと	目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通じて自己を向上させようとする。
言語についての知識・理解・技能	伝統的な言語文化に親しんだり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、使ったりするとともに文字を正しく整えて書いている。

◇年間指導（学習）・評価計画

学期	月	領域 単元	学習内容	評価の 観点	評価規準または規準	評価の方法 評価材料
一 学 期 (4 / 6 / 7 / 2 0)	4	新しい世界へ	朝のりれー【読(詩)】(2) ● 表現に着目しながら読み、詩に表れているものの見方や考え方を捉える。	関心 読む 言語	読 表現に着目しながら読み、詩に表れているものの見方や考え方を捉えている。	授業中の取り組み ・ 学習課題に対する自分の考えの発表やノートへの記述。 提出物の取り組み方 ・ プリントやワークシート ・ 漢字学習 小テストの結果 ・ 漢字テスト ・ 単元テスト
			オオカミの友だち【読(物語)】(4) ● 場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、登場人物の気持ちの変化を捉える。	関心 読む 言語	読 場面の展開や登場人物の描写と登場人物の気持ちの変化との関連を評価しながら読んでいる。	
			聞き上手、話し上手になるために スピーチ【話(聞)】(4) ● 話す速度や音量、ことばの調子や間の取り方、身振りや手振りなどの効果を意識しながら話す。	関心 話す 聞く	話聞 話す速度や音量、ことばの調子や間の取り方、身振りや手振りなどを自覚しながら、意図的に活用して話している	
	5	わかりやすく伝える	読み方を学ぼう①【説明文の基本構造】ペンギンの防寒着(1) ● 段落と段落の関係に着目しながら、文章の展開を捉え、内容を読み取る。 ● 読み手にわかりやすく伝えるための、筆者の	関心 読む 言語	読① 段落と段落の関係に着目しながら、文章の展開の意義や効果を評価しながら、内容を読み取っている。 読② 読み手にわかりやすく伝えるための、筆者の表現の工夫の意義や効果を評価している	

二学期 (7/21/12/25)	6	かかわりをとらえる	表現の工夫を捉える。			<ul style="list-style-type: none"> 文法の知識 言語知識 授業中の課題・発表 <ul style="list-style-type: none"> スピーチや話し合い活動の技能 聞き取りの技能 作文やレポートなどの技能 定期テスト <ul style="list-style-type: none"> 漢字、敬語、文法などの言語知識 説明的な文章や文学的な文章。古典教材の読み取り問題。
			文法のまど1 ことばの単位・文節の関係(2)	関心 言語	言 ことばの単位・文節の関係について理解している	
			調べたことを整理して、わかりやすく レポート【書】(6)	関心 書く 言語	書① 調べて集めた情報を分析・整理して、まとまりや順序を考えて文章を構成している。	
			漢字のしくみ1 活字と手書き文字・画数・筆順 漢字を身につけよう1【漢】(2)	関心 言語	言 活字と手書き文字・画数・筆順についての理解を深めている。 新しく学習する漢字の読み書きについて理解を深めている。	
			空中ブランコ乗りのキキ【読(物語)】 読み方を学ぼう②【人物相関図】鳥の目になって(5)	関心 読む 言語	読① 場面の展開や登場人物の描かれ方に注意して読んでいる。 読② 登場人物の判断や行動について、自分の考えをもっている。	
			ことば発見1 音声のしくみとはたらき【言】(1)	関心 言語	言 音声のしくみとはたらきについての理解を深めている	
	7	かかわりをとらえる	チームの力を引き出す 質問【話聞】(4) ●質問を効果的に使い、自分の考えと同じ点や違う点を確認したり、整理したりする。	関心 話す聞く	話聞① 質問を効果的に使い、自分の考えと同じ点や違う点を確認したり、整理したりしている。	
			字のない葉書【読書(随筆)】(2) 読書活動「読書郵便」を楽しもう ●本や文章から情報を集めるための方法を身につけて、目的に応じて必要な情報を読み取る。	関心 読む 言語	読 本や文章から情報を集めるための方法を身につけて、目的に応じて必要な情報を読み取っている。	
			漢字を身につけよう2【漢】(1)	関心 言語	言 新しく学習する漢字の読み書きについて理解を深めている。	
			食感のオノマトペ【読(説明)】(5) 読み方を学ぼう③【図表と文章】 説得力は文字以外でも ●図表と文章との関係に注意しながら、事実とそれに基づく筆者の考えを読み分ける。	関心 読む 言語	読① 図表と文章との関係に注意しながら、事実とそれに基づく筆者の考えを読み分けている。 読② オノマトペの意味や効果について、自分の考えをもっている。	
	9	情報を読み解く	ことば発見2 話しことばと書きことば(1) 【言】●話しことばと書きことばについての理解を深める。	関心 言語	言 話しことばと書きことばについての理解を深めている。	
			目的や相手に応じて、情報を編集する(6) ●目的と相手を明確にして集めた情報を分類・整理して、わかりやすく構成する。	関心 書く	書② 文章を読み返し、表記や表現の仕方などを確かめて、相手にとって必要な情報が正しくわかりやすく伝わるものになっている。	
漢字のしくみ2部首と成り立ち【漢】(2) ●部首と成り立ちについての理解を深める。 漢字を身につけよう3【漢】			関心 言語	言 部首と成り立ちについての理解を深めている。 言 新しく学習する漢字の読み書きについて理解を深めている。		
月を思う心【伝(解説)】(1)			関心 読む 言語	読 現代とのつながりを考えて読み、物語のおもしろさについて、自分の意見をもっている。		
竹取物語【伝(古文)】(5) 古典情報 古典の仮名遣い ●古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、古典の世界にふれる			関心 読む 言語	言 古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、古典の世界にふれている。		
10	古典に学ぶ	故事成語——矛盾【伝(漢文)】(3)(1) 古典情報 漢文の読み方 ●訓読の仕方にふれ、漢文調のリズムに注意して音読する。	関心 読む 言語	読 現代とのつながりを考えて読み、物語のおもしろさについて、自分の意見をもっている。 言 古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、古典の世界にふれている。		
		漢字を身につけよう4【漢】(1)	関心 言語	言 新しく学習する漢字の読み書きを確実に身につけている。		
		玄関扉【読(説明)】(5) 読み方を学ぼう④【三角ロジック】主張・事実・理由づけ ●文章に示された事実と筆者の意見と理由を読み分けて、要旨を捉える。	関心 読む 言語	読① 文章に示された事実と筆者の意見と理由を読み分けて、要旨を捉えている。 読② 玄関扉の例を中心に、文化の違いについて、自分の考えをもっている。		
		ことば発見3 接続する語句・指示する語句【言】(1) ●接続する語句・指示する語句についての理解を深める。	関心 言語	言 接続する語句・指示する語句についての理解を深めている。		
11	論理的に考える	論理で迫るか、感情に訴えるか 討論ゲーム【話聞】(4) ●説得力をもつように、話の構成や討論の展開を工夫して話す。	関心 話す聞く 言語	話聞① 説得力をもつように、話の構成や討論の展開を工夫して話している。 話聞② わかりやすく印象に残る語句を選んだり、声の調子や身振りなどに変化をつけたりして、相手に与える効果を考えて話している。		
		表現ブラザ① 変わり身の上話【書】(2) ●なり変わったものの特徴の捉え方や発想のおもしろさ、表現の工夫などについて交流する。	関心 書く 言語	書 なり変わったものの特徴の捉え方や発想のおもしろさ、表現の工夫などについて交流している。		
		漢字を身につけよう5【漢】(1)	関心 言語	言 新しく学習する漢字の読み書きを確実に身につけている。		

三学期 (12/26/3/23)	12	読みを深め合う	見えないだけ【読(詩)】(2) ●詩の中のことばの意味を的確に捉えて、内容を理解する。	関心 読む 言語	読① 詩の中のことばの意味を的確に捉えて、内容を理解している。 読② 表現に着目しながら読み、その特徴と効果について自分の意見をもっている。	
			ことば発見4 比喩・倒置・反復・対句【言】(2) ●比喩・倒置・反復・対句について理解を深める。	関心 言語	言① 比喩・倒置・反復・対句について理解を深めている	
			少年の日の思い出【読(小説)】(6) 読み方を学ぼう⑤【語り手】語っているのは誰？ ●場面展開や人物描写に着目して、登場人物の心情の変化を捉える。	関心 読む 言語	読① 場面展開や人物描写に着目して、登場人物の心情の変化を捉えている。 読② 作品の構成の工夫を読み取り、その効果について自分の考えをもっている。	
			文法のまど2 単語の類別・品詞【言】(2) ●単語の類別・品詞について理解する。	関心 言語	言 単語の類別・品詞について理解している。	
			多角的な視点で作品を読み解く 鑑賞文【書】(6) ●想像を広げたり、いろいろな視点で分析したりして、自分の受け止め方や考えを明確にして書く。	関心 書く 言語	書① 想像を広げたり、いろいろな視点で分析したりして、自分の受け止め方や考えを明確にして書いている。 書② 書いた文章を読み合い、作品の捉え方や根拠の明確さ、表現の仕方などについて意見を交流している。	
			漢字を身につけよう6【漢】(1)	関心 言語	言 新しく学習する漢字の読み書きを確実に身につけている。	
	1	視野を広げる	この小さな地球の上で【読(随想)】(5) ●文章に出てくる語句の意味について、文脈にそって的確に捉える。	関心 読む 言語	読① 文章に出てくる語句の意味について、文脈にそって的確に捉えている。 読② 地球や人間に対する筆者の考え方を読み取り、自分のものの見方や考え方を広げている。	
			思いや感覚に向き合い、考えを確かなものに意見文【書】(5) ●日常生活の中から課題を決め、問いと対話によって、自分の考えをまとめる。	関心 読む 言語	書① 日常生活の中から課題を決め、問いと対話によって、自分の考えをまとめている。 書② 事実や体験から導き出した自分の考えを、根拠を明確にして書いている。	
			表現プラザ② 即興劇にチャレンジ【話聞】(2) ●声の調子や語句の選択、言葉づかいなど、役に応じた表現を工夫する。	関心 話す聞く	話聞 声の調子や語句の選択、言葉づかいなど、役に応じた表現を工夫している。	
		2	つながりを考える	漢字のしくみ3 漢字の音と訓【漢】(1) ●漢字の音と訓についての理解を深める。		言 漢字の音と訓などの読み方について理解を深めている
				漢字を身につけよう7【漢】(1)	関心 言語	言 新しく学習する漢字の読み書きを確実に身につけている。
				トロッコ【読(小説)】(6) 読み方を学ぼう⑥【情景描写】書かれていない気持ち ●情景や行動の描写に表現されている、主人公の心情の変化を読み取る。	関心 読む 言語	読① 情景や行動の描写に表現されている、主人公の心情の変化を読み取っている 読② 文脈の中のことばの意味を的確に捉え、表現の工夫や特徴について考えをもっている。
3		つながりを考える	漢字を身につけよう8【漢】(1)	関心 言語	言 新しく学習する漢字の読み書きを確実に身につけている。	
			一年間の自分とクラスを振り返って グループ新聞【話聞/書】(7) ●取材して集めた情報を、編集会議によって検討したり整理したりする。	関心 話す聞く 書く 言語	話聞 取材して集めた情報を、編集会議によって検討したり整理したりしている。 書 文章を読み返し、表記や表現の仕方などを確かめて、正しく読みやすいものになっている。	
			漢字を身につけよう9【漢】(1)	関心 言語	言 新しく学習する漢字の読み書きを確実に身につけている。	
上記の学習内容に加え、書写の学習が20時間程度あります。また副教材の活用、状況に応じた教材の追加、差し替えがある場合があります。長期休業前後には、課題図書による「読むこと」の学習も計画しています。						

平成 29 年度 国語科 第 2 学年 学習指導・評価計画

1、国語科の学習指導のねらいおよび目標

人と人が関わり合って生きていく上で、自分の考えや思いを適切に表現したり、相手の考えや思いを正しく理解したりすることがとても大切です。ですから、国語科の一番のねらいは、「伝え合う力」を高めることです。

また、人は言葉を手がかりにして考えたり、想像を広げたりします。意味の分かる言葉や、使いこなせる言葉が増えることで考える力や想像する力も高められるので、中学校ではたくさんの言葉を勉強しましょう。そうすることで、言葉の感覚が磨かれ、よりよい言葉の使い手になることができるでしょう。

2、国語科の学習で大切なこと

言葉は見ているだけでは使いこなせるようになりません。声に出して読むこと、その声を聞くこと、自分の手で書くこと、それをくり返すことではじめて自分の言葉になっていきます。また、知らない言葉に出会ったときに、その言葉の意味や使い方を自ら調べる態度も大切です。たくさんの用例を知って、自ら使ってみることで言葉の感覚が磨かれていきます。

3、思考力・判断力・表現力を高めるには

授業の中では、言葉を手がかりにして課題に対する自分の考えを深める時間をとります。その時間にどの言葉ならば自分の考えを伝えるのにふさわしいか選んだり、表現を工夫したりします。また、他の生徒の考えを聞き、発想を広げられるよう、意見の交換をする時間をとります。

4、家庭学習の進め方

授業で発表の活動があるときには、学んだことを自分の発表に活かせるように、話し方を練習しておくことが大切です。また、日頃から家族や友達とたくさん話して、自分の話をするのはもちろん、相手の話をよく聴く力も身に付けることが大切です。

作文や新聞など書いてまとめる課題が出たときには、授業で学んだことを活かしながら、よりよい文章を書くために何度も書き直してみましよう。そのくり返しの中で書く力がついていきます。

小テストや定期テストの前には、言語に関する知識の復習に力を入れましよう。読解問題については何度も音読することで文章の内容を理解し、人に説明できるまでしておくことが学習のポイントです。

1. 評価について

【評価の観点およびその趣旨】

観 点	趣 旨
関心・意欲・態度	伝え合う力を高めるために、話す・聞く・読む・書くそれぞれの授業の課題に意欲的に取り組むことができるか。語彙を広げ、知識を深める態度が授業の取り組み方、提出物、テストなどに表れているか。
話す・聞く能力	授業のねらいにそって目的や場面に応じ、話すことができるか。相手の考えを正しく理解して聞いたり、考えを比べたりしながら聞くことができるか。相手の立場を尊重して話し合うことができるか。
書く能力	授業のねらいにそって目的や意図に応じ、自分の考えを適切に表現できるか。構成を工夫したり、効果的に伝わるように表現を工夫したりできるか。
読む能力	授業のねらいにそって目的や意図に応じ、言葉を手がかりに文章の内容を正しく理解して読むことができるか。読んだことについて自分の考えをもつことができるか。
言語についての知識・理解・技能	言葉の意味や使い方を知っているか。言葉の特徴やきまりを理解しているか。言葉を適切に使うことができるか。文字を正しく整えて書くことができるか。

◇年間指導（学習）・評価計画

学期	月	単元	学習内容	評価の観点	評価規準または基準	評価の方法 評価材料
一学期	4	学びの扉を開く	・短歌の世界（４） 短歌十首（２）	読む・書く 読む・書く	・表現の仕方について考えをまとめられる。 ・単語の活用について理解している。 ・文章全体と部分の関係を捉えている。根拠を明確にして自分の考えをまとめられる。	・授業中の取り組み（音読・発言・発表活動など） ・授業中の課題への取り組み ・ノートの書き取り ・ワークやプリント類の取り組み状況 ・小テスト、定期テストの成績
	5		・用言の活用（２） ・人間は他の星に住むことができるのか（５）	言語 読む		
	6	情報を読み解く	・手紙（２）	書く	・手紙の形式や構成を理解している。文章を読み返し、分かりやすい文章に書き直せる。	
	7	ことばを磨く	・小さな手袋（５） ・詩の学習（２） ・プレゼンテーション（６） ・創作文（７） ・敬語の意味と種類（３）	読む 読む 話す・聞く 書く 言語	・人物の言動の意味を読み取れる。 ・作品の構成や展開、特徴をいかして朗読できる。 ・論理的な構成や展開を考えて話したり、資料や機器を効果的に活用して話したりできる。 ・効果的に伝わるように描写を工夫して書くことができる。 ・敬語の働きを理解している。	
二学期	9	視野を広げる	・壁に残された伝言（６）	読む	・ものの見方や考え方について知識や体験と結びつけて考えられる。 ・作者の思いを想像して読める。 ・例示や描写の効果を考えられる。	
	10		・枕草子・徒然草（５） ・動物園にできること（６）	読む・伝統 読む		
	11	古典に学ぶ	・助詞・助動詞（３）	言語	・助詞、助動詞のはたらきを理解している。	
	12	分析的に考える 読みを深め合う	・主張文（７） ・平家物語（５） ・パネルディスカッション（５） ・漢詩の世界（４） ・詩の学習（２） ・走れメロス（７）	書く 読む・伝統 話す・聞く 読む・伝統 読む 読む	・伝えたいことを明確にして文章の構成を考えられる。文章を読み合い、自分の考えを広げている。 ・作品の特徴を生かして朗読できる。登場人物の思いを想像して読める。 ・相手の立場や考えを尊重し、目的にそって話し合い、自分の考えを広げている。 ・漢文の構成を理解し、作者の思いを想像して読める。 ・描写の効果を考えられる。 ・人物の言動の意味を考えて読める。	
三学期	1	思いを伝える つながりを考える	・詩の学習（３）	読む・書く	・表現技法を理解し、描写の効果を意識して創作している。 ・ものの見方や考え方について知識や体験と結びつけて読み、自分の考えを広げている。 ・多様な方法で材料を集め、整理することができる。 ・抽象的な概念を表す語句、心情を表す語句に注意して読める。 ・社会生活の中から話題を課題を決め、多様な方法で取材したり、構成を工夫してまとめることができる。	
	2		・達人のことば（５）	読む		
	3		・インタビューに挑戦（３） ・ポテトスープが大好きな猫（５） ・ふるさを見つめ直す（９）	話す・聞く 読む 話す・聞く・書く		

その他…新出漢字など言語の学習に 7 時間、書写に 20 時間計画されています。

平成 29 年度 国語科 第 3 学年 学習指導・評価計画

2. 国語科の学習指導のねらいおよび目標

これから社会に出て生きていく上で、コミュニケーション力が問われる機会が多くなります。そのためには自分の考えや思いを適切な表現で伝えたり、相手の考えや思いを正確に受け止め、理解したりすることが必要不可欠です。

また、言語能力を高めることで、想像力や表現力が豊かになり、今まで以上に読書を楽しんだり、自分の考え方を広げたりすることができるようになります。

国語の授業ではそういった伝え合う力や言語能力が身につくよう、5（評価について）の五つの観点を通して勉強します。

3. 国語の学習で大切なこと

ただノートやワークを丸覚えしては、前に挙げた国語力は身につけません。授業以外でも積極的に音読をして語感を鍛えたり、記述問題は面倒くさがらずに一度書いてみたりしましょう。新出語句を意識的に書く文に取り入れてみるのも効果的です。考えることを放棄せず、一度自分の言葉でまとめてみると、それが的を射ていなかったとしても勉強になります。

4. 思考力・判断力・表現力を高めるには

授業の中では、言葉を手がかりにして課題に対する自分の考えを深める時間をとります。その時間に自分の意見をじっくりと考え、自分の言葉で伝えるために表現の工夫を工夫する必要があります。とりあえず、諦めずに考えて書いてみましょう。授業内での発表で、他の生徒の言葉や先生の補足から言葉の使い方や表現力を高めることもできるはずです。

5. 家庭学習の進め方

普段の生活から、言葉の使い方を意識してみることも必要です。また、授業で発表の活動がある時には、声の大きさや話す早さなども意識して練習しておくことが大切です。

作文など、書く課題が出た時には教科書や便覧の書き方を参考にしながら書いてみると苦手な人も取り組みやすいと思います。また、一度書いて終わりにするのではなく、何度も読み返して書き間違いがないか、もっと良い表現は無いか推敲していきましょう。国語辞書を効果的に使うとより良いです。

宿題はただこなすのではなく、学習目標を振り返って意識的に取り組むだけでも変わります。また、テストはただ結果を出すためだけにあるのではなく、今、自分がどれくらい理解できているかを確認するものです。問題を解いたら終わりではなく、一番大切なのはできなかったところを確認し、できるようにすることです。分からなかった所は友だちや先生に質問し、先延ばしにしないようにしましょう。

6. 評価について

【関心】・授業中の意欲（発言・課題への取り組み）・提出物の状況

【話す聞く】・スピーチ等の発表や話し合い活動の技能・聞き取りの技能・聞き取りテスト

【書く】・学習プリント（書く課題）・作文・ノートの記述・定期考査

【読む】・学習プリント（読む課題）・ノートの記述・定期考査

【言語】・学習プリント（言語課題）・漢字テスト・定期考査・書写作品 など

【評価の観点およびその趣旨】

観 点	趣 旨
関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め、国語を尊重しようとする。
話す・聞く能力	目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けている。話したり聞いたりして考えを深めている。
書く能力	目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く能力を身に付けている。文章を書いて考えを深めている。
読む能力	目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して自己を向上させようとする。
言語についての知識・理解・技能	伝統的な言語文化に親しんだり、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し使ったりするとともに、文字を正しく整えて書いている。

◇年間指導（学習）・評価計画

学期	月	領域 単元	学習内容 (目安時数)	評価の 観点	評価規準または 基準	評価の方法 評価材料
一学期 (4/6/7/20)	4	学びの扉を開く	・水のようなひと(2) ・間の文化(4)	読む・書く 読む	・表現の工夫に注意しながら読める。 ・論理の展開に注意して主張を読める。事例の提示の仕方を捉えたうえで自分の意見を考えられる。	・授業中の取り組み(音読・発言・発表活動など) ・授業中の課題への取り組み ・ノートの手書き取り ・ワークやプリント類の取り組み状況、提出物
	5	かかわりを捉える	・握手(5) ・小論文(5) ・俳句の世界/俳句十句(6)	読む 書く 読む・伝統・話す・聞く	・人物像を的確に捉えられる。 ・論理の展開や引用の仕方を工夫して書ける。	
	6	ことばを磨く	・ブックトーク(4) ・花や咲く咲く(2) ・文法(復習)(3) ・書写(5)	読む 言語 言語	・きまりや特徴を理解して内容を捉えられる。作品についての意見や感想、評価を活発に交流できる。 ・場や相手に応じて話の内容を構成し、工夫できる。	
	7	随時			・目的に応じて読み、知識を広げたり自分の考えを深めたりすることができる。	
二学期 (7/21/12/25)	9	多角的に考える	・フロン規制の物語(5) ・企画会議(5)	読む 話す・聞く	・展開の仕方などについて意図や効果を捉えることができる。	・小テスト、定期テストの成績
	10	古典に学ぶ	・和歌の世界(4) ・おくのほそ道(4) ・論語(2)	読む・伝統 読む・伝統 読む・伝統	・表現を工夫し、説得力のある発言ができる。話し合いを効果的に展開することができる。 ・詠まれた背景を想像しながら、情景や心情を読み取れる。形式や表現の特徴を捉えている。 ・作者のものの見方や考え方を捉えている。	
	11	情報を読み解く	・情報社会を生きる/新聞記事を読み比べよう(4) ・批評文(6)	読む 書く	・漢文の響きやリズムに注意しながら読むことができる。 ・語句の効果的な使い方を捉えている。	
	12	読みを深め合う	・初恋(2) ・故郷(5) ・文法(復習)(3) ・書写(書き初め)(5) ・受験にむけて(2)	読む 読む 言語 言語	・自分の立場を明確にし、論理展開を工夫して書くことができる。 ・詩の形式を踏まえて朗読し、作者の思いを捉えている。 ・場面や登場人物の設定の仕方を捉えて読める。自分の考えをもつことができる。	
三学期 (12/26/3/23)	1	広がる世界へ	・「文殊の知恵」の時代(3) ・ワールド・カフェ(2)	読む 話す・聞く	・筆者の主張を捉え、身近な例や報道の例に目を向けながら内容を理解できる。これからの社会について考えることができる。	
	2		・坊っちゃん(3) ・中学校生活を振り返って(7)	読む 話す・聞く・書く	・分かりやすい表現を使ったり聞き手に問いかけたりしながら話すことができる。交流を通して深く考えられるような話し合いの場を作ることができる。 ・語句の使われ方に注意して読み、考えを深めることができる。	
	3	随時	・文法(2) ・受験に向けて(2) ・百人一首(3)	伝統	・聞き取った内容からものの見方や考え方を深めることができる。目的や課題に応じて文章を集め、効果的で適切な構成を工夫することができる。	

授業進度や内容は状況によって変更する場合があります。

夏休みを活用し、課題図書による読書指導と読書感想文、漢字の学習や復習を予定しています。